



株式会社ダイサン

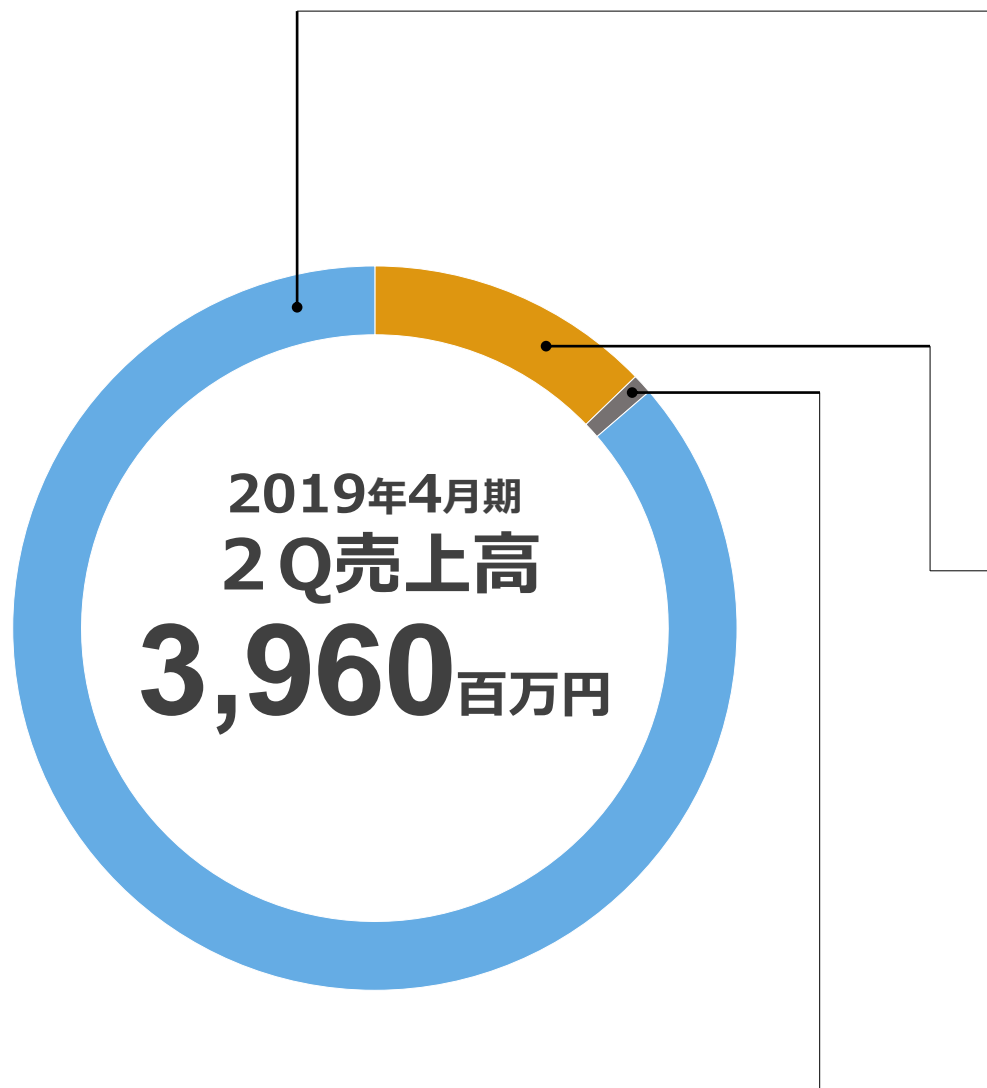
2019年4月期 第2四半期
決算補足説明資料

社名	株式会社ダイサン
設立	1975年4月
本社所在地	大阪市中央区南本町2丁目6番12号 サンマリオンNBFタワー3階
従業員数	400名(138名) 2018年4月20日現在 臨時雇用者数は年間の平均人員を()外数で記載しております。
資本金	5億6,676万円 2018年10月20日現在
事業種目	クサビ式足場「ビケ足場」の施工サービス 建築金物・仮設機材の製造・販売
ISO9001	2000年7月 認証取得
取引市場	株式会社 東京証券取引所市場第二部



(単位：百万円)

	金額		前期差額	前期比
	前期実績	当期実績		
売上高	4,081	3,960	△120	97.0%
売上原価	2,684	2,663	△21	99.2%
売上総利益	1,396	1,296	△99	92.9%
販管費	1,058	1,078	+19	101.8%
営業利益	337	218	△119	64.7%
経常利益	341	222	△118	65.1%
四半期純利益	209	132	△77	63.2%



86.3% 施工サービス事業

ビケ足場を使用した設計、施工サービス



12.8% 製商品販売事業

ビケ足場、枠組み足場及び単管足場用仮設機材の開発・製造・販売および一般仮設材の製造販売

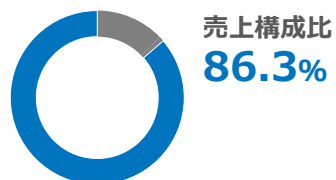


0.9% その他

業務受託及び保険代理店ほか

第2四半期 業績概要 施工サービス事業

セグメント情報

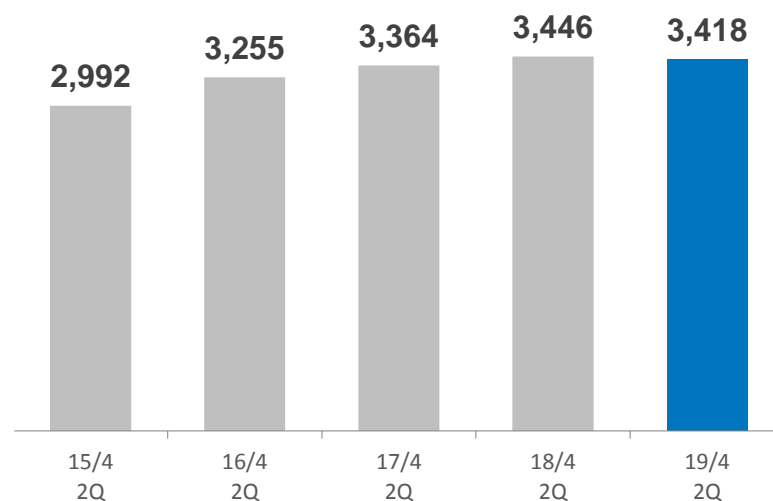


(単位：百万円)

	金額		前年同期差額	前年同期比
	前期 2 Q	当期 2 Q		
売上高	3,446	3,418	△27	99.2%
売上総利益	1,206	1,130	△75	93.7%

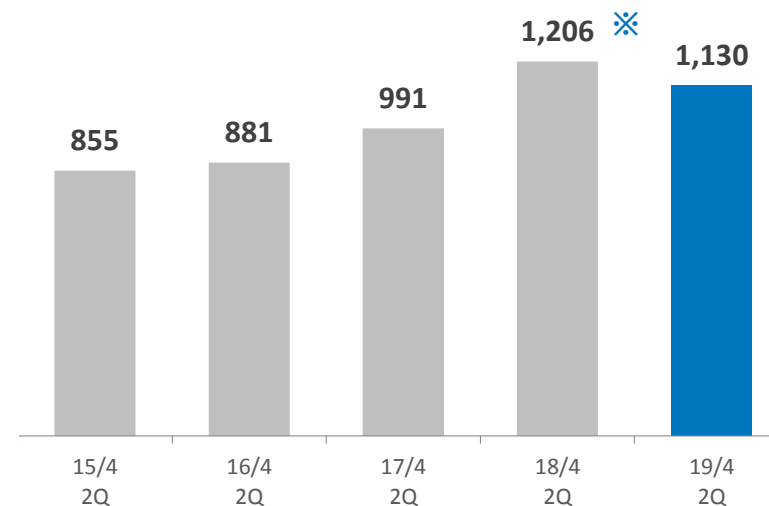
(単位：百万円)

売上高



(単位：百万円)

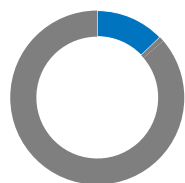
売上総利益



※ 2016年8月 営業基盤の拡大とお客様対応力強化を目的に、施工管理担当者を営業担当者へ転換させたことにより、売上原価が減少し、販管費が増加しております。

第2四半期 業績概要 製商品販売事業

セグメント情報



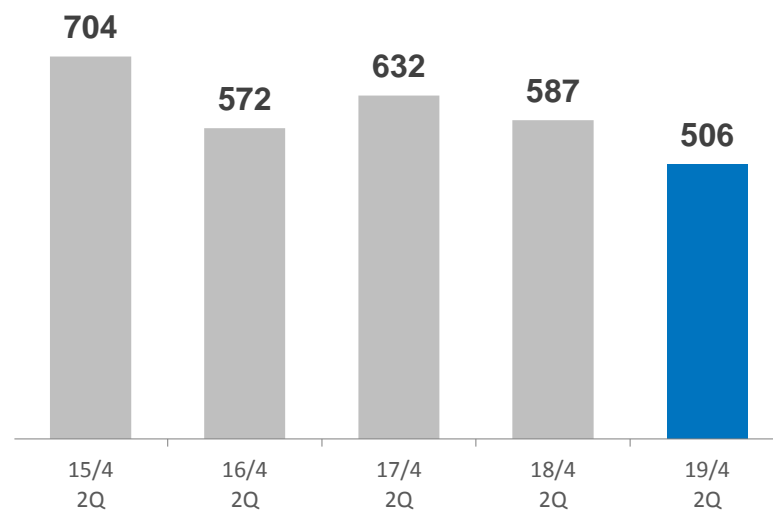
売上構成比
12.8%

(単位：百万円)

	金額		前年同期差額	前年同期比
	前期 2 Q	当期 2 Q		
売上高	587	506	△81	86.2%
売上総利益	163	144	△18	88.7%

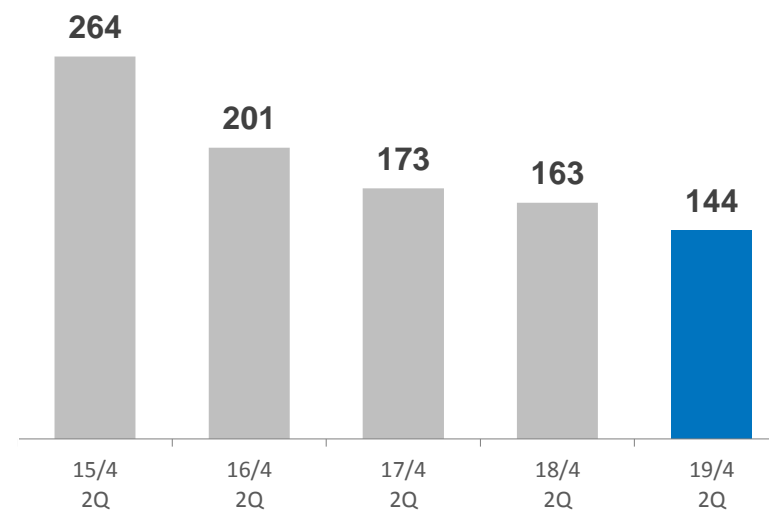
(単位：百万円)

売上高



(単位：百万円)

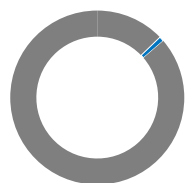
売上総利益



第2四半期 業績概要 その他

DAISAN®

セグメント情報

売上構成比
0.9%

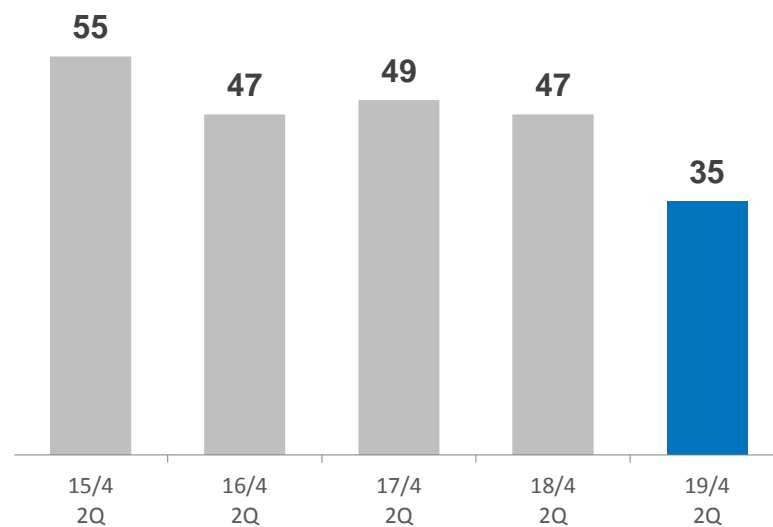
(単位：百万円)

	金額		前年同期差額	前年同期比
	前期 2 Q	当期 2 Q		
売上高	47	35	△12	74.1%
売上総利益	26	21	△5	79.1%

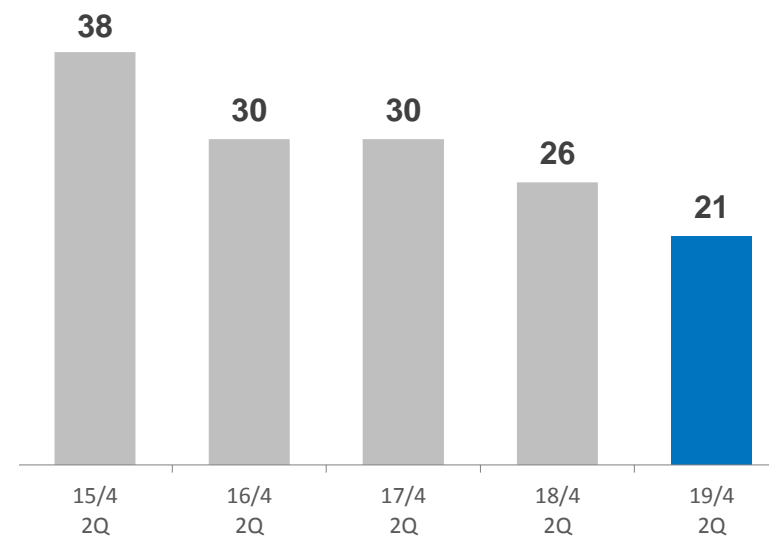
(単位：百万円)

(単位：百万円)

売上高

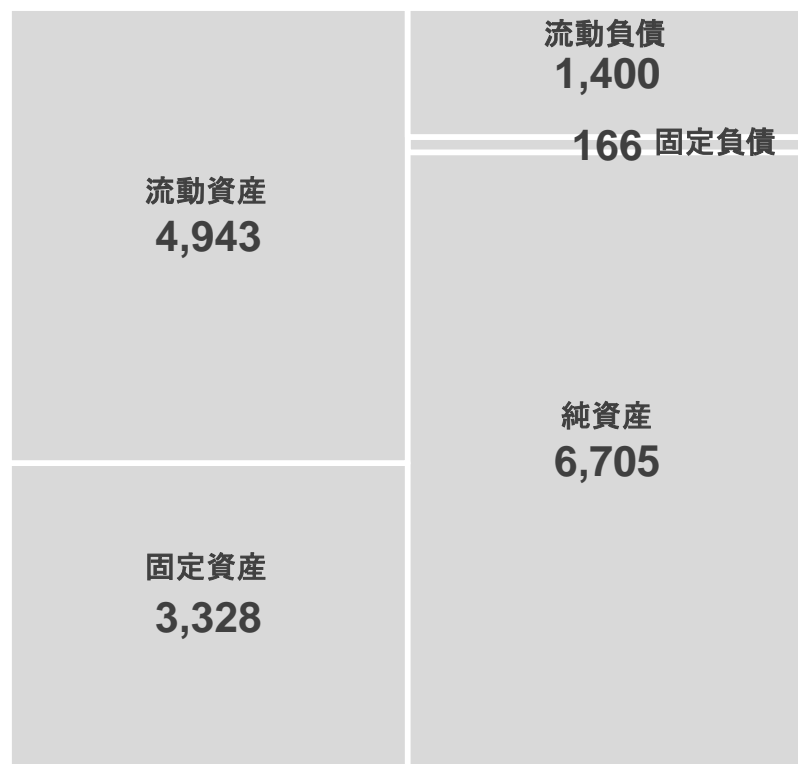


売上総利益



(単位：百万円)

前期末



資産合計
8,272

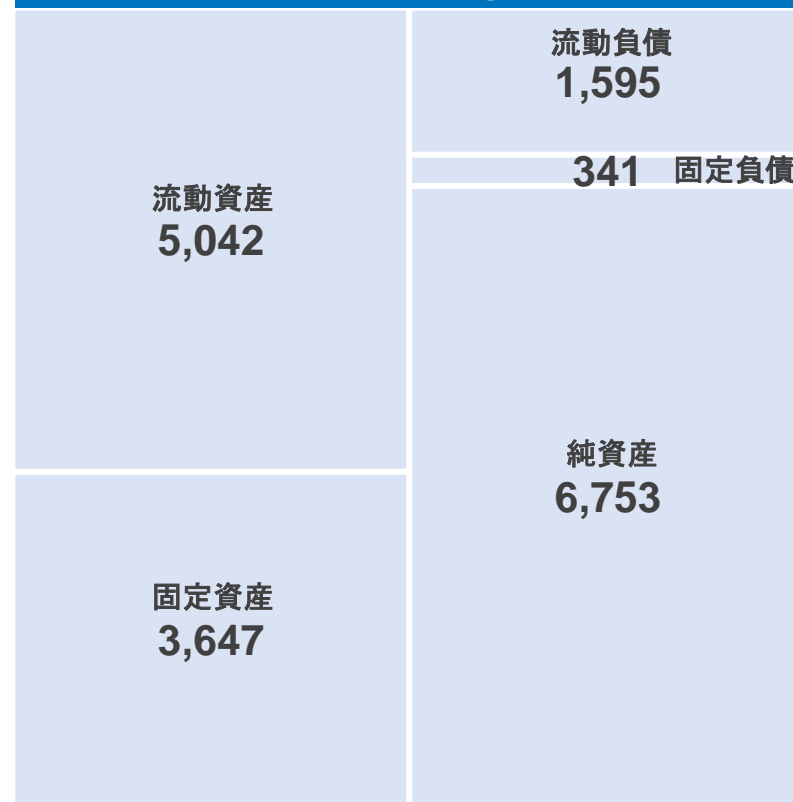
負債純資産合計
8,272

自己資本比率
一株当たり純資産

81.1%
1,045.65円

(単位：百万円)

当期 2Q



資産合計
8,689

負債純資産合計
8,689

自己資本比率
一株当たり純資産

77.7%
1,053.04円

(単位：百万円)

	前期 2Q	当期 2Q
税引前当期純利益	339	221
営業活動によるキャッシュ・フロー	536	245
投資活動によるキャッシュフロー	△264	△365
財務活動によるキャッシュフロー	△99	182
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	172	63
現金及び現金同等物の期首残高	1,644	2,249
現金及び現金同等物の期末残高	1,816	2,312

主な増減理由

● 営業活動によるキャッシュフロー

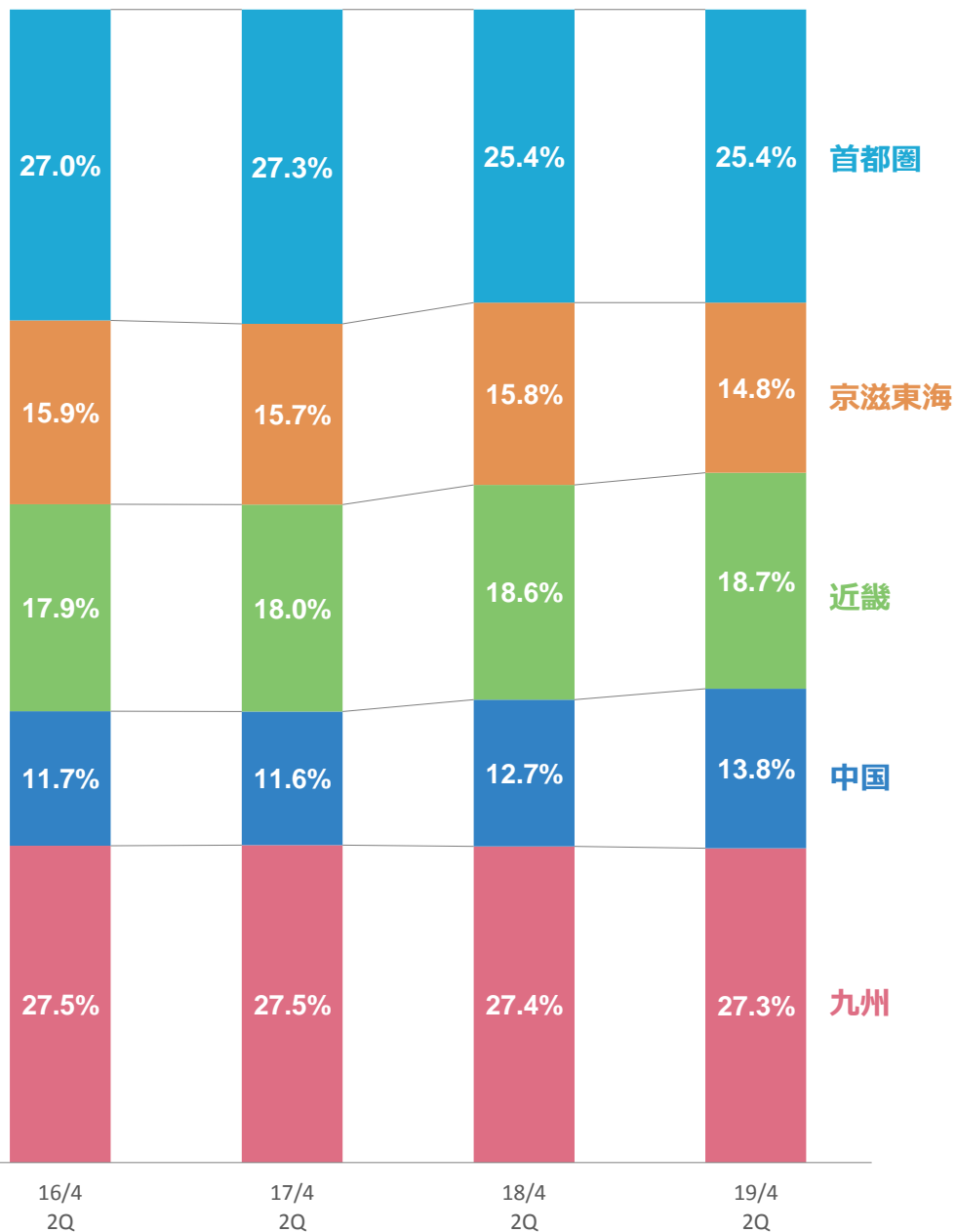
税引前四半期純利益が221百万円
仕入債務の増加額214百万円
売上債権の増加額57百万円
法人税等の支払額107百万円

● 投資活動によるキャッシュフロー

有形固定資産の取得による支出342百万円
無形固定資産の取得による支出28百万円

● 財務活動によるキャッシュフロー

長期借入れによる収入300百万円
配当金の支払額83百万円



施工サービス事業における 当事業年度の主な設備の異動

- 2018年 8月

首都圏

埼玉東SC移転

生産力、および営業力強化
敷地面積1,820㎡から2,712㎡へ拡張

- 2018年 10月

首都圏

新規SC開設準備

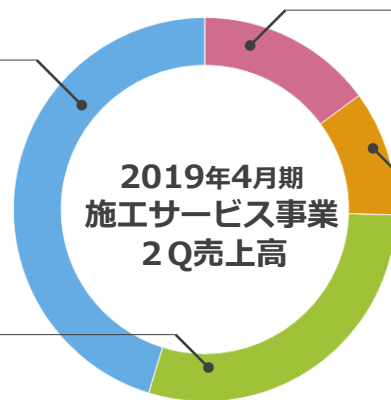
新規SC開設を目的に神奈川県川崎市
において土地、建物を取得

注文住宅 45.3%

主に施主様が土地を購入し、
建物を建築する際の足場
※1棟の受注が多い

リフォーム 29.3%

増改築工事、外装工事などの
リフォーム現場向け足場



大型建築物 14.9%

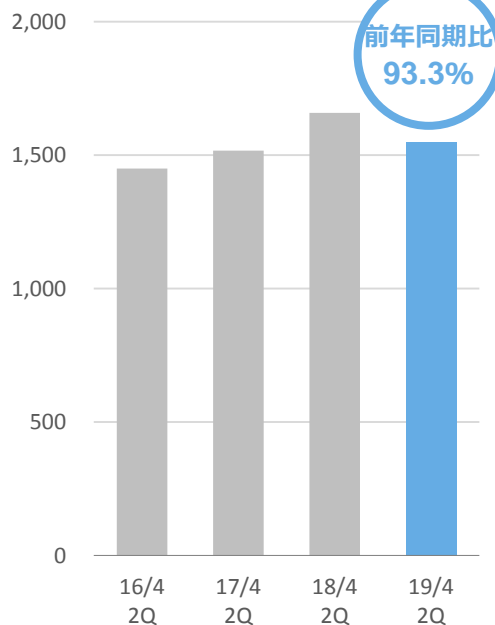
マンション、工場、店舗などの
大型建築物向け足場

分譲住宅 10.6%

主に不動産会社が土地を購入し、
建物を建築する際の足場
※複数棟の受注が多い

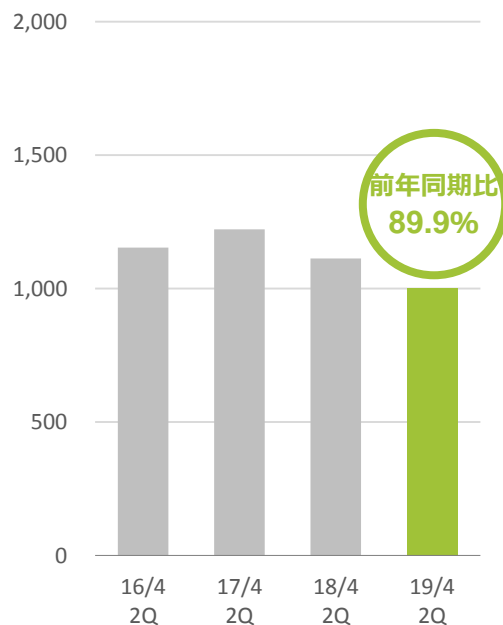
注文住宅

(百万円)



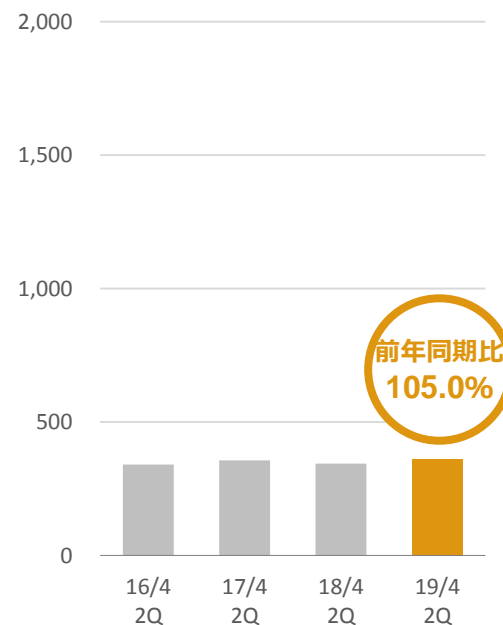
リフォーム

(百万円)



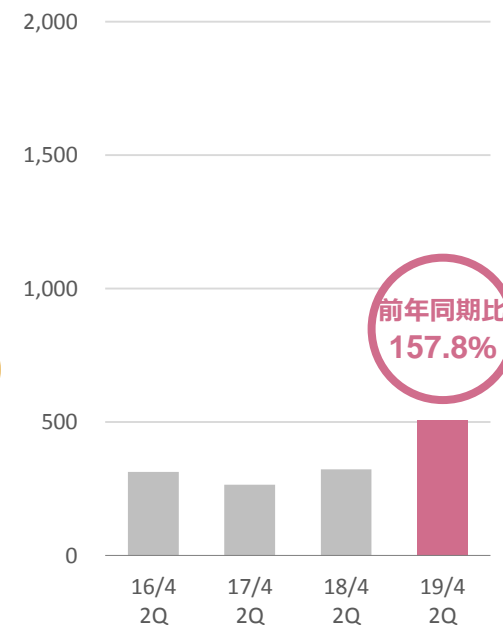
分譲住宅

(百万円)



大型建築物

(百万円)



(単位：百万円)

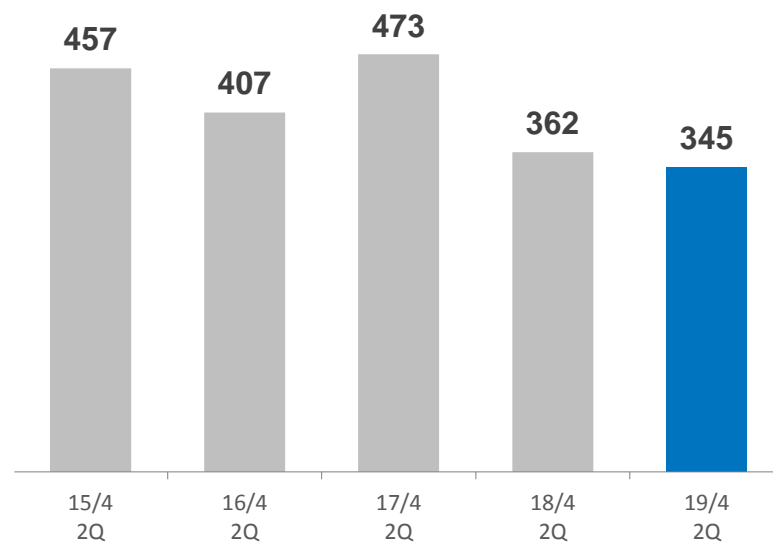
	金額		前年同期差額	前年同期比
	前期 2 Q	当期 2 Q		
ビケ部材 ※ 1	362	345	△17	95.3%
一般仮設 ※ 2	225	160	△64	71.5%

※1 当社が製造する「ビケ足場」の各種部材

※2 ビルなどの中高層建築工事や橋梁などの土木工事で使われる一般仮設材

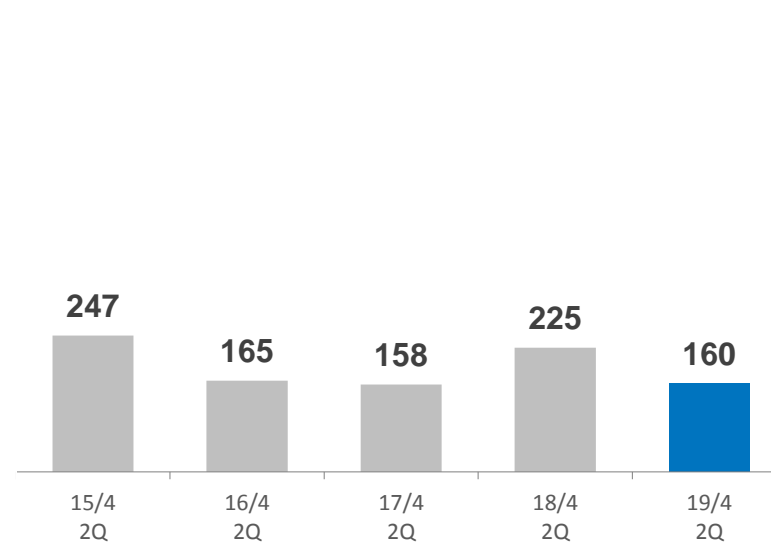
(単位：百万円)

ビケ部材



(単位：百万円)

一般仮設



今後の見通しとしまして、当社に関連の深い住宅業界におきましては、引き続き住宅ローン金利は低位で推移するものと考えられますが、2019年10月に予定されている消費税増税について、経過措置の関係上、住宅関連の工事は、下期に影響が出るものと思われます。ただし、政府による増税の緩和策が検討されているなど、前回増税時のような駆け込み需要までは生じないものと考えられます。また、集合住宅などの貸家の減少は継続する可能性が高く、住宅着工戸数は前期とほぼ同程度になるものと思われます。

このような環境の中、当社としましては、経営の重点課題である施工スタッフの採用強化について、魅力ある施工スタッフ制度の拡充と共に継続的に取り組みながらも、足場施工の作業負担を軽減するために、足場部材の軽量化や作業全体の見直し等、様々な効率化を進めて参ります。また、これまでの事業の枠に捉われず、工事現場に関わる新しい事業への参入、海外も含めた市場の開拓、新しい技術の導入など、将来を見据えた新たなビジネスモデルを構築して参ります。

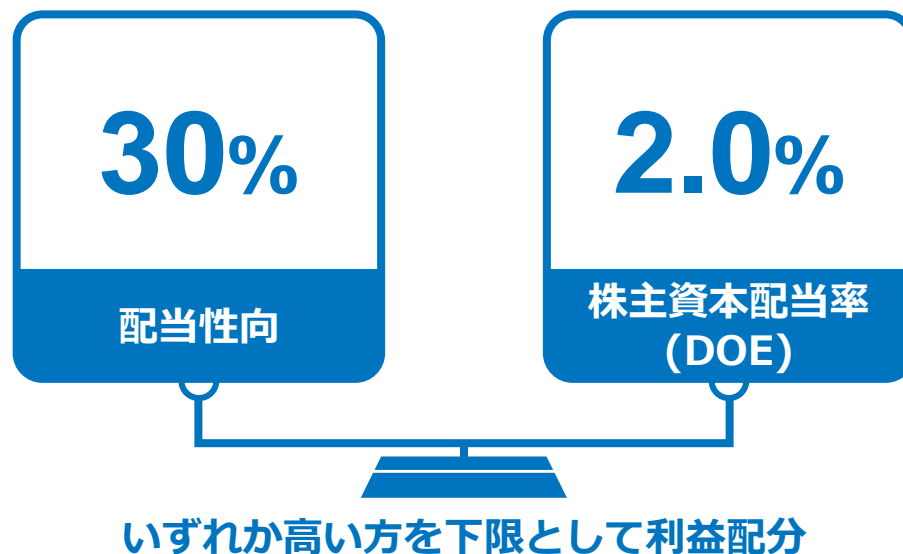
(単位：百万円)

	金額		前期差額	前期比
	18/4期実績	19/4期予想		
売上高	8,301	8,700	+398	104.8%
営業利益	653	655	+1	100.3%
経常利益	663	655	△8	98.8%
当期純利益	395	420	+24	106.2%

配当方針

当社は、株主の皆様への利益還元と業績を拡大していくための内部留保とのバランスを考慮し、適切な配当を行う事を基本方針としております。なお、内部留保金につきましては、継続的な業績の伸張を図るため、事業拡大と経営基盤の強化に対し、重点的に投資を行ってまいります。

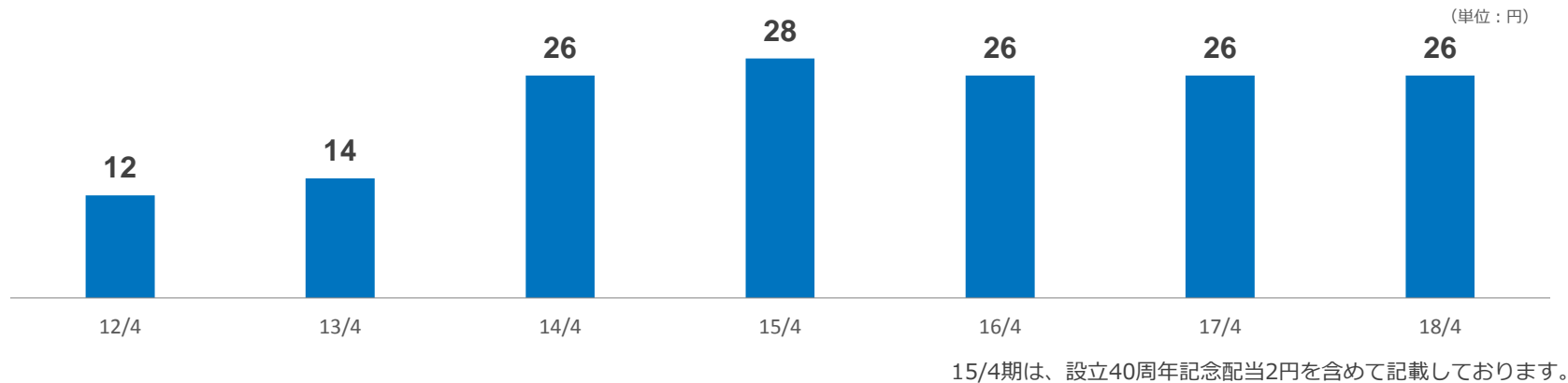
当期におきましては、企業価値の向上と株主の皆様への還元の結びつきをより明確にできるよう、配当性向30%、もしくは株主資本配当率（DOE）2.0%のうち、いずれか高い方を下限として利益配分させていただくことを基本方針といたします。



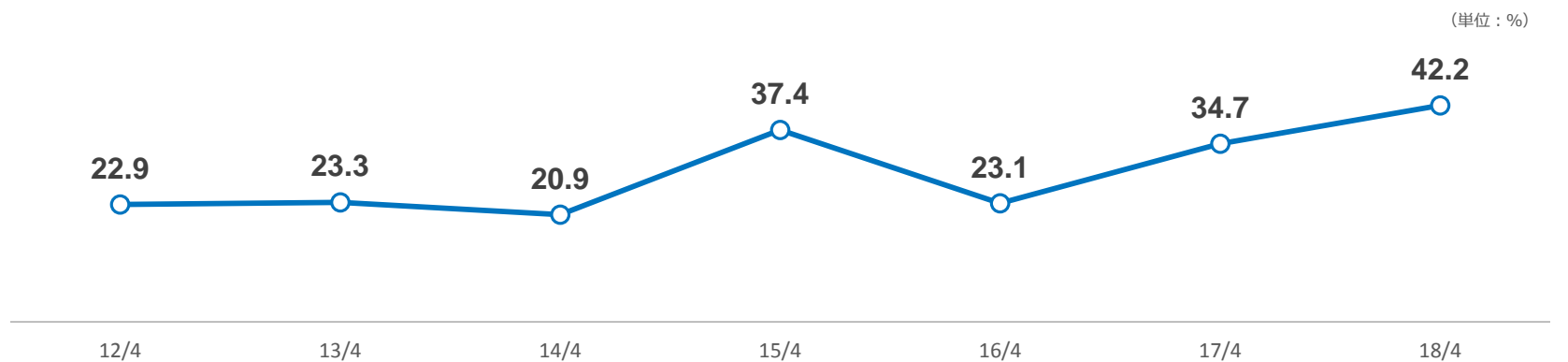
これらの方針により、当期の配当金は、中間13円、期末13円の1株当たり年間配当金26円とさせていただく予定であります。なお、株価の動向、経営環境の変化等を考慮した上で、適宜、自己株式の取得を検討してまいります。

当期の見通し 配当方針

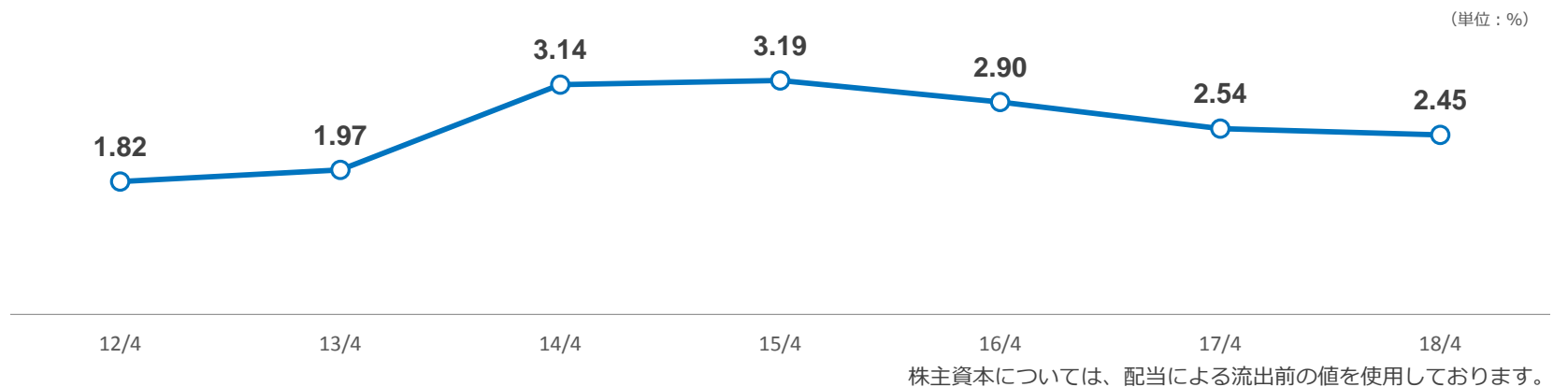
1株当たり 配当金



配当性向



株主資本配当率 (DOE)



参考資料

DAISAN®

(百万円)	13/4 (2Q)	14/4 (2Q)	15/4 (2Q)	16/4 (2Q)	17/4 (2Q)	18/4 (2Q)	19/4 (2Q)
売上高	3,622	4,382	3,752	3,874	4,046	4,081	3,960
売上原価	2,576	2,921	2,594	2,762	2,851	2,684	2,663
売上総利益	1,046	1,461	1,157	1,112	1,195	1,396	1,296
販売費及び一般管理費	745	739	760	786	868	1,058	1,078
営業利益	300	722	397	325	327	337	218
経常利益	311	743	413	351	336	341	222
四半期純利益	188	444	248	212	211	209	132

(百万円)	13/4	14/4	15/4	16/4	17/4	18/4	19/4(2Q)※
総資産	7,932	9,643	9,107	7,980	7,939	8,291	8,689
たな卸資産	406	530	423	503	529	453	506
流動資産	5,129	6,043	5,043	5,241	4,828	5,027	5,042
固定資産	2,802	3,600	4,064	2,739	3,111	3,264	3,647
流動負債	1,850	2,324	1,412	1,620	1,288	1,400	1,595
固定負債	610	638	562	221	194	185	341
自己資本	5,471	6,680	7,131	6,138	6,457	6,705	6,753
資本合計/純資産合計	5,471	6,680	7,131	6,138	6,457	6,705	6,753
資本金	566	566	566	566	566	566	566
負債・純資産合計	7,932	9,643	9,107	7,980	7,939	8,291	8,689

※ 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を
当第1四半期会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

	(百万円)	13/4 (2Q)	14/4 (2Q)	15/4 (2Q)	16/4 (2Q)	17/4 (2Q)	18/4 (2Q)	19/4 (2Q)
営業活動によるキャッシュフロー		374	337	3	145	18	536	245
投資活動によるキャッシュフロー		△21	△425	△325	△30	△119	△264	△365
財務活動によるキャッシュフロー		△107	△207	△266	△70	△140	△99	182
フリーキャッシュフロー		353	△87	△321	114	△101	272	△119

ご注意

本資料の予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

この資料で提供される全ての情報は、著作権法およびその他の法律により保護されています。無断での引用や転載、複製は禁じられております。